

令和6年度実施分地域予算提案事業実施報告

「地域予算提案制度」は、地域の課題を地域で効率的に解決する仕組みです。

地域会議は、一定の枠内で地域の課題解決のための予算の使い道を市長に提案することができます。市長は、地域会議の提案を予算に反映し、市議会の議決を経て、行政が次の年度に事業を実施します。

1 都賀地域交通事故防止対策事業＜継続事業＞

令和6年10月22日(火)、赤津小学校においてスケアード・ストレイト交通安全教室を実施しました。

「スケアード・ストレイト(恐怖の直視)教育技法」とは、怖い思い、ヒヤッとする体験を通じて啓発効果を高める教育技法です。具体的には、スタントマンによるリアルな交通事故再現という手法を取り入れたものです。



令和7年度実施分地域予算提案事業計画書を提出



令和6年9月25日(水)に大塚紀通会長(写真左)が大川秀子市長(写真右)に令和7年度実施分の地域予算提案事業計画書を提出しました。

地域予算提案制度とは、地域の課題を地域で効率的に解決したり、活性化に資する事業を行う制度です。

計画書の内容については、裏面をご覧ください。

都賀総合支所開庁記念事業 <新規事業>

コロナ禍や新庁舎新築工事により中止していた都賀地域の祭の再開に合わせて、総合支所開庁記念事業（著名人による講演）を実施してもらい、参加者や地域の各種団体が集うことで、交流が生まれ地域の活性化が図れる。

【担当：地域振興部都賀地域づくり推進課地域づくり推進係】



簡易テント購入事業 <新規事業>



簡単に設営できるテントを購入し、スポーツ大会や、自治会のイベント時に貸出を行い、会場設営の簡素化を図り、地域の交流及び活性化を図る。



【担当：地域振興部都賀地域づくり推進課地域づくり推進係】

都賀地域交通事故防止対策事業 <継続事業>

都賀地域の児童生徒及び高齢者を対象に、交通安全意識を高め、交通事故防止を目的とする。

都賀地域内の小・中学校でスクアード・ストレイト方式による交通安全教室を実施し、交通安全意識の啓発を行う。また、交通安全啓発物品を配布する。

【担当：生活環境部交通防犯課交通防犯係】



※交通安全グッズは毎年異なります

つがの里活性化事業 <継続事業>



都賀地域の憩いの場である「つがの里」を、観光やイベントの拠点とし、子どもから高齢者まで多くの世代が楽しみ集える魅力ある公園とするため、移動が可能な縁台を活用することにより、必要な場所に移動することができ、つがの里の利便性が図れる。

【担当：都市建設部公園緑地課公園整備係】



栃木市マスコットキャラクター
とち介

発行：都賀地域まちづくりセンター（都賀地域づくり推進課内）

都賀地域会議だより
第27号

令和7年3月19日発行

〒328-0192 栃木市都賀町原宿573

電話：0282-29-1100 / FAX：0282-27-7556

E-mail：t-chiiki@city.tochigi.lg.jp